

## 指定管理者評価票(評価対象年度:令和6年度)

施設名	第一・第二東恋ヶ窪学童保育所、第一・第二・第三日吉町学童保育所及び西恋ヶ窪学童保育所	所属名	子ども家庭部 子ども子育て支援課
指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズ・センター事業団	指定期間	平成6年4月1日～令和11年3月31日
施設の設置目的	保護者の就労等により昼間適切な監護を受けられない児童に対し、適切な遊びと生活の場を与え、健全な育成を図る。		
事業概要	子どもに対する生活の場の提供、子どもの健全育成に係わること。		

単位:円

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	累計
収入	124,444,169	123,998,483	125,407,928	373,850,580
収入内訳				
指定管理料	122,094,180	120,889,942	122,321,376	365,305,498
利用料金	0	0	0	0
その他	2,349,989	3,108,541	3,086,552	8,545,082
支出	123,535,081	123,103,078	124,224,278	370,862,437
収支差額	909,088	895,405	1,183,650	2,988,143

※令和4年度と令和5年度の収入・支出は、別事業者の第二・第三日吉町学童保育所の収支も含めて計上。

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
の収 適支 確計 性画	収支計画に基づき適正に執行されたか	3	収支計画に基づき適正に執行されていた。	3	3
業 務 の 履 行 状 況 の 評 価	協定等に基づき業務が実施されていたか	3	育成日誌、シフト表、毎月の事業報告書等の書類及び現地調査の結果、協定等に基づき、業務が適切に実施されていた。	3	3
	開館予定日数・開館時間は守られていたか	4	育成日誌、シフト表、毎月の事業報告書等の書類及び現地調査の結果、開所日、開所時間は遵守されていた。導入した入退室管理システムを活用し正確に児童の登降所確認を行っていた。	4	4
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっていたか	3	育成日誌、シフト表等の書類や現地調査の結果、協定書上の必要な職員・支援員を配置し、基準を満たして運営していた。	3 二三日吉4	3 二三日吉4
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されていたか	3	防火管理者を確保し、施設内に掲示していた。放課後児童支援員及び認定研修受講資格を持つ者が配置されていた。	3	3
	書類は適正に保管され、必要な報告がされていたか	3	書類は、施錠の上キャビネットに保管し、適正に扱っていた。協定書・仕様書に定められた必要な報告は、遅れることなく市に報告されていた。	3	3
	施設全体が清潔に保たれていたか	3	全ての施設が衛生面に配慮しており、水回りなど汚れやすい場所は重点的に清掃を行い、施設全体が清潔で明るい環境づくりを行っていた。	3	3
	法定点検や検査等は確実に実施されていたか	3	仕様書に基づいた保守点検業務は遅滞なく実施され、各点検報告結果も整然と保管されていた。	3	3

※第二・第三日吉町学童のみ別事業者だったため、数字に「二三日吉」としているものは、第二・第三日吉町学童のみの評価。他項目は同評価。

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	3箇年平均
利用者数 利用件数 利用率	第一東恋ヶ窪学童 79.0%	第一東恋ヶ窪学童 92.9%	第一東恋ヶ窪学童 107.0%	第一東恋ヶ窪学童 93.0%
	第二東恋ヶ窪学童 93.3%	第二東恋ヶ窪学童 108.0%	第二東恋ヶ窪学童 109.4%	第二東恋ヶ窪学童 103.6%
	第一日吉町学童 62.3%	第一日吉町学童 63.8%	第一日吉町学童 62.2%	第一日吉町学童 62.8%
	第二日吉町学童 64.4%	第二日吉町学童 68.9%	第二日吉町学童 97.3%	第二日吉町学童 76.9%
	第三日吉町学童 57.8%	第三日吉町学童 93.8%	第三日吉町学童 105.9%	第三日吉町学童 85.8%
	西恋ヶ窪学童 63.6%	西恋ヶ窪学童 68.8%	西恋ヶ窪学童 89.3%	西恋ヶ窪学童 73.9%
	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)	※学童は利用率(平均出席人数/定員数)
利用者満足度(%)	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.2%	第一・第二東恋ヶ窪学童 97.0%	第一・第二東恋ヶ窪学童 92.8%	第一・第二東恋ヶ窪学童 95.7%
	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 100.0%	第一日吉町学童 97.6%	第一日吉町学童 99.2%
	第二・第三日吉町学童 100.0%	第二・第三日吉町学童 98.0%	第二・第三日吉町学童 79.5%	第二・第三日吉町学童 92.5%
	西恋ヶ窪学童 94.7%	西恋ヶ窪学童 100.0%	西恋ヶ窪学童 92.9%	西恋ヶ窪学童 95.9%

※第二・第三日吉町学童の令和4年度と令和5年度の利用率等は別事業者の数値

※評価欄は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 抜本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指 標	評 価 項 目	評 価	理 由	前年度	前々年度
サービスの質に関する評価	利用者の満足度はどうであったか	4	利用者アンケートの満足度において、90.7%が「満足」又は「どちらかといえば満足」との回答であり、昨年度に比較して低くなったものの、事業者変更への意見に対する対応において、児童及び保護者へ個別に保育方針の説明を丁寧に行うなど、信頼関係構築への努力を怠らなかった。	4	4
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	狭隘状況を心配する意見に対し、学校からの協力を得て分散保育を行い工夫していた。以前からのトイレ老朽化への意見に対し、市の改修工事を実施したが、その間の保育調整に大いに協力体制を示していた。事業者変更への保護者からの意見には、真摯に向き合い丁寧な説明を辛抱強く行い、理解をいただくための努力を怠らなかった。	3 二三日吉4	3 二三日吉4
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であったか	4	事業者の変更に伴う職員の入れ替り等に対して利用者から声はあったものの、利用者アンケートの職員への満足度は高い水準であり、また、経験年数の多い職員や本部職員が現場において具体的な保育指導を行うことで職員の資質向上に努め、利用者の信頼を得ていた。	4 二三日吉5	4
	クレーム等に対して適切に対処していたか	3	保護者から相談があった際には、職員間で共有するとともに、市と対応の方向性をすり合わせ、早急に解決できるように努めていた。	3	3 二三日吉4
	個人情報が適切に取り扱われていたか	3	個人情報に記載された書類については施錠できる書棚に保管し適切に管理し、パソコンは利用者の情報はインターネットに繋がっていないパソコンを使用し使用後は書庫へ格納し施錠するなど適正に取り扱っていた。	3	3
	業務に必要な研修を実施していたか	3	従事者育成に係る研修計画に基づいた各種研修が実施され、研修受講後の資料を事務室内で管理し情報共有することで内容を還元していた。	3	3
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	配慮が必要な児童について職員全体で共有し、個々に合った環境設定及び保育内容の見直しを随時行い、関係施設と連携することによって、安心して過ごせるように努めていた。ボードを利用し視覚的に一日の流れがわかりやすいよう工夫するなど、個々の特性に応じて児童が過ごしやすい環境を整えていた。	3	3
	業務の改善が図られていたか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)	—		—	—
施設の 水の 準の 特性 の評 価に 応じ た	自然災害等への対応	4	計画通り2か月ごとに不審者・火災・地震を想定した訓練を行っており、不審者想定訓練では、小金井警察署の方に来ていただき、子どもたちも交え、学ぶ機会を作っていた。	4	4
	学校及び地域等との連携による児童の育成支援への取組について	4	校庭開放の際、毎回参加人数を報告し、放課後子どもプラン委員と協力して全体の見守りをしており、共催行事を行った施設もあった。学校増築工事及び学童トイレ改修工事を行った施設は、日々の安全管理について学校及び関係課との丁寧な調整を図り、工事中は学校を借用して安全に保育運営を行った。全施設が一同に会し交流の場を設けた4学童(6施設)まつりを実施し、保護者の会のブースも設け、日頃の運営への理解に結び付けることができていた。「地域の達人の技を体験しよう」では、全体の学童がそれぞれで個性を出して工夫し、プログラミングワークショップや木工工作、じゃがいも堀り、クラシックコンサート等を実施した。	4	4
	配慮を要する児童への対応について	3	障害のある児童に合った室内の環境整備、保育内容を見直し、気持ちが落ち着くよう別室に移動したり、刺激になる要因を除いたりして工夫していた。アレルギーのある児童のおやつ提供前には職員2人以上で原材料名を確認し別皿での提供などの配慮をしていた。	3	3

※指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案又は自主事業の提案があった場合の実施状況について、総合評価への加点の参考とすること(提案内容と実施状況の詳細は別紙確認票に記載すること)。

指 標	評 価 項 目	有無	実 施 状 況	有無	前年度	前々年度
関 実 提 選 す 施 案 る 状 内 況 容 に の 価 の	指定管理者の選定時に、提案書において市の募集要項等を上回る水準の市主催事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無	有
					有	有
	指定管理者の選定時に、提案書において自主事業の提案があったか	有	当該年度において、提案内容の実施があったか(一部実施及び内容を見直して実施した場合を含む)	有	提案 有無	提案 有無
					有	有

主管課長の評価				
総合評価		評価の理由等	前年度	前々年度
3	市の要求水準を満たしている	新規開所から単独での運営となっていた第二・三日吉町学童保育所が、令和6年度より同学校区の既存学童が所属するグループの運営に組み込まれたことにより、指定管理事業者の変更があった。職員の入れ替わり等に起因すると想定されるご意見を利用者より頂くこともあったが、市と対応方針について調整を図った上で、経験豊かな職員や本部職員が直接指導に入るなど、一つ一つに真摯に対応することで、利用者の信頼を得ていた。また、施設の狭あいや修繕時の対応について、学校の協力を得て学校施設を借用する、地域住民の力をお借りしたワークショップを行う等、学校と地域の方々との調整力を発揮し充実した学童保育運営を行っていた。障害児やアレルギー児の対応について、職員間で情報共有等を行いながら、安心・安全な保育が実施されていた。放課後子どもプランとの連携についても、日々の校庭開放に積極的に参加する他、共催で行事を実施する等、児童の健全育成につながる多様な体験・活動を提供していた。今後においても、引き続き学校や地域等との連携を深めながら保育の充実を図るとともに、安心・安全な施設の管理・運営を期待したい。	3 二三日吉4	3
主管課長：子ども子育て支援課 氏名：山元 めぐみ				